

取付説明書

ZETA ピボットパーチ CP/FP

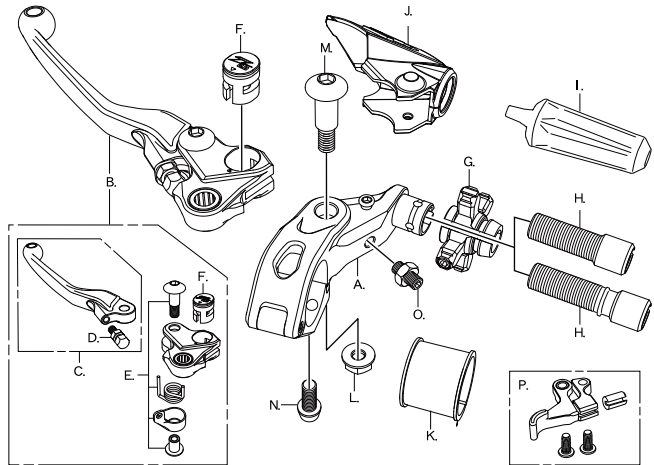
この度はZETA ピボットパーチ CP/FPをお買い上げいただき、ありがとうございます。取り付けされる

前に必ず製品の状態をご確認いただき、下記の内容をよくご覧になり正しく作業を行ってください。

1. 注意事項

- すでに車輛に装着されている製品・部品等によって本製品と干渉し、使用できない場合があります。
- 本製品はレースでの使用を前提に設計されております。
- 製品に対し、加工、改造を行わないで下さい。
- 取り付けには専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思われる事故や故障の原因となる場合があります。
- 必ず毎走行前に各ボルト類に緩みの無いことを確認してください。

2. 各部の名称とセット内容



セット内容

- | | | | |
|------------------------|-------|--------------------|-----|
| A. パーチ Assy..... | 1 個 | I. アジャスターカバー | 1 個 |
| B. レバー Assy..... | 1 個 | J. ダストカバー | 1 個 |
| C. レバーアーム..... | 1 個 | K. ナイロンスリーブ..... | 1 個 |
| D. アジャストボルト1..... | 1 個 | L. ナット..... | 1 個 |
| E. マウンティングキット..... | 1 個 | M. レバーマウントボルト..... | 1 個 |
| F. レシオデバイス..... | 1 個 | N. クランプボルト..... | 1 個 |
| G. クイックケーブルアジャスター..... | 1 個 | O. アジャストボルト2..... | 1 個 |
| H. アジャスターボルトS/L..... | 各 1 個 | | |

※オプションパーツで P. ホットスターキット(別売り)があります。

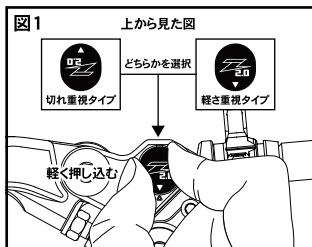
3. 各部の調整部品について

レシオデバイス

レバー比を2段階調節できるパーツです。

【調整手順】

- 1) レバー裏面から、ドライバー等で軽く押し出を取り外します。
- 2) 上面プリントのママークとレバー本体のママークが合う方向がレバー操作の軽さを重視したタイプ、逆に装着した場合はクラッチの切れを重視したタイプになります。(図1参照)
- 3) どちらかを選択し、手で軽く押し込みます。

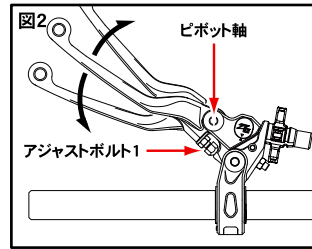


アジャストボルト1

ピボット軸からのレバー角度(グリップからの距離)を調整するパーツです。

【調整手順】

- 1) ロックナットをスパナ等で緩めます。
- 2) ボルトを時計方向に回すと、レバーアームが遠くなり反対に回すと近づきます。(図2参照)
- 3) 位置が決まったらボルトを固定しておき、ロックナットを締め付けます。

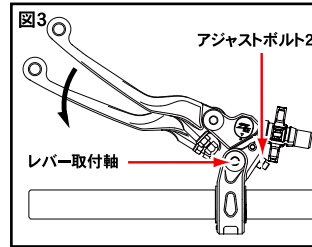


アジャストボルト2

クラッチケーブルの遊びとレバー取付軸からのレバー角度(グリップからの距離)を調整するパーツです。

【調整手順】

- 1) ロックナットをスパナ等で緩めます。
- 2) イモネジを時計回りに締め込むと、レバーがグリップに近づきます。(図3参照)
- 3) 位置が決まったらイモネジを固定しておき、ロックナットを締め付けます。



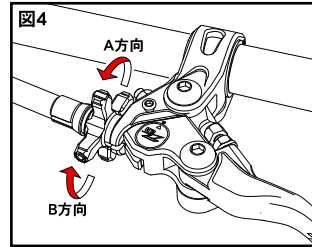
クイックケーブルアジャスター

クラッチケーブルの遊びを微調整するパーツです。

【調整手順】

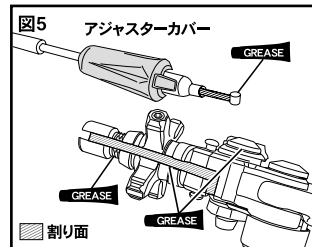
A方向へ回すとクラッチケーブルの遊びが少なくなり、B方向へ回すと遊びが増えます。(図4参照)

※1/4回転ずつ調整が可能です。

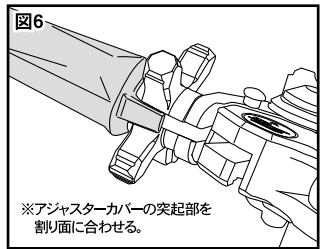


4. 取り付け方法

- 1) 純正のクラッチレバーレバーホルダーを取り外します。
- 2) K. ナイロンスリーブをハンドルバーへ取り付け、ピボットパーチ本体をN. クランプボルトを用いて締め付けます。
- 3) 本体からB. レバー Assy、アジャスター Assy(G. H. I.)を取り外します。
※アジャスター Assyは引き抜くと外れます。
- 4) B. レバー Assy、G. クイックケーブルアジャスター、H. アジャスターボルトの可動部、クラッチケーブルのタイコ部にグリスを塗布します。(図5参照)
※アジャスターボルトは2種類付属しています。車種によって適当な長さを選択してください。
- 5) G. クイックケーブルアジャスター、H. アジャスターボルトを、A. パーチ Assyに組み付け、G. クイックケーブルアジャスターをいっぱいまで締めこんだ状態から数クリック戻し、割りが前面になるようにします。(図5参照)
- 6) クラッチケーブルにI. アジャスターカバーを通します。(図5参照)
- 7) F. レシオデバイスを調整します。(図1参照)
- 8) クラッチケーブルに調整機能のある車輛は、大まかにケーブル長を調整します。
- 9) レバーにクラッチケーブルのタイコを掛けG. クイックケーブルアジャスター、H. アジャスターボルトの割りにワイヤーを通します。



- 10) M. レバーマウントボルトとL. ナットを使用しレバーを取り付けます。
※ナットの締め付けトルクは6N・m(0.6kgf・m)です。
- 11) I. アジャスターカバー、J. ダストカバーを取り付けます。(図6参照)
※アジャスターカバーの突起部を、クイックケーブルアジャスターの割りに合わせます。
- 12) D. アジャストボルト1とO. アジャストボルト2を調整し、好みのポジションにセットします。(図2、3参照)
- 13) G. クイックケーブルアジャスターで遊びを微調整をします。(図4参照)
- 14) 各ボルト・ナットに緩みのないことを点検しハンドルを左・右にいっぱいまで動かし、十分にケーブルの遊びがあるかを確認します。
- 15) 安全な場所ではエンジンを始動し、クラッチの切れ具合、すべりを点検します。
- 16) 定期的に可動部を洗浄し、各部のグリスアップを行って下さい。



5. レバーメンテナンス

- 1) a. レバーアームからb. アジャストボルト1を取り外します。
※スプリングが変形する恐れがありますので、必ず先にアジャストボルトを取り外します。
- 2) g. ナットを緩め、e. スプリング、f. スプリングカバーを取り外します。
- 3) d. レバーマウントボルトを緩め、a. レバーアームを取り外します。
- 4) 各部を洗浄し、必要箇所へグリスを塗布します。(図7参照)
※各部の備具具合を確認し、ひどい場合は新品に交換してください。
- 5) d. レバーマウントボルトを使用し、c. アームホルダーにa. レバーアームを取り付けます。
※レバーマウントボルトのネジ山に、ネジロック剤を塗布します。
- 6) e. スプリングをc. アームホルダーとa. レバーアームの取り付け穴に差し込みます。
- 7) e. スプリングにf. スプリングカバーをかぶせg. ナットで締め付けます。
- 8) a. レバーアームにb. アジャストボルト1を取り付けます。

